

平成29年度

全国地域づくり人財塾

－ 課題解決編（フィールドワーク型）－

総務省では、「全国地域づくり人財塾」等の受講を経て地域づくりの実践を始めた方等を対象に、課題解決の糸口発見や更なる活動へのステップアップの場とするために、本講座を開催いたします。

「地域づくり人」として更なる実践を考えている方、全国の有志とのネットワークを構築したい方、新しい事業・取組を検討されている方、是非ご参加ください。

グループによる実践的なプランニングを通じて実現のための手法を学んでみませんか。

日程：平成29年12月14日(木)～16日(土)[2泊3日]

テーマ：地域資源を活かした事業創造

講師：飯盛 義徳 慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐／教授（総務省「人材力活性化研究会」座長）

会場：NPO法人土佐山アカデミー(高知県高知市)、NPO法人NPO砂浜美術館(高知県黒潮町)

対象：地方公共団体職員又は地域づくりに取り組むNPO関係者等の皆様

※ 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできません。

※ 事前課題として、地域の状況や課題、研修で学びたいことなどについてのプレゼン資料の作成(発表時間10分程度の分量、Microsoft社のPower Pointで作成)が必要となります。

定員：15名(受付は先着順となります。お申込み受付後、受講案内、事前課題の詳細をお送りします。)

宿泊：高知共済会館(高知市)[相部屋]、ネスト・ウエストガーデン土佐(黒潮町)[相部屋] ※外泊不可

経費：18,000円

※ 研修、宿泊、食事(1日目夕食、2日目朝食、3日目朝食・昼食)が含まれます。

※ 2日目夕食は交流会を予定(各自負担)。

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにてお申し込みください。

※ 申込期限：平成29年11月24日(金)まで。

■メイン講師 慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐／教授 飯盛 義徳 氏



地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的方策を探究されています。その豊富なご経験と、先進事例の成功要因に基づいて、「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から、参加者の皆さんが実践されている、地域づくり活動の課題についてアドバイスをいただきます。

<講師略歴>

佐賀県生まれ。慶應義塾大学大学院経営管理研究科単位取得退学、博士(経営学)。1987年、松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了後、飯盛教材株式会社入社。1999年、アントレプレナー育成スクールNPO法人鳳雛塾を設立。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008年、慶應義塾大学総合政策学部准教授。2014年から現職。「域学連携」を各地で推進。総務省人材力活性化研究会座長、総務省過疎問題懇談会委員、総務省地域づくり懇談会委員などを務める。

お問合せ

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

担当：三宅地域支援専門官、菊池係長、高浦事務官 Tel：03-5253-5391

お申込み

(株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係 担当：木村、目黒

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1

Tel：03-5205-7901 Fax：03-5205-7922 Mail：zinzai@vmi.co.jp

■プログラム構成

※プログラムは都合により変更となる可能性があります。

1

【事前課題】現在の地域活動の状況・課題の整理

参加者が各地域で実践している地域づくり活動の状況、抱えている課題及び本研修で学びたいことについて事前にまとめていただき、当日発表していただきます。

2

【フィールドワーク】地域の取組の視察

実際に地域に赴き、地域の取組を関係者から伺います。

■フィールドワーク①

特定非営利活動法人土佐山アカデミー (高知県高知市土佐山)

土佐山アカデミーは、高知市の源流域である中山間地「土佐山(旧土佐山村)」を拠点として「人が自然の一部として生きる文化を育む」というミッションの実現に向けて「学びの場づくり事業」「つながりづくり事業」「文化・社会づくり事業」といった事業を実施しています。ここでは、土佐山アカデミーが大切にしている“地域の資源を活かし、新たな出会いやアイデアを育む”、「学びの場」、「創る場」、「活かす場」づくりのポイント等を学びます。

【ホームページ: <http://tosayamaacademy.org/>】

■フィールドワーク②

特定非営利活動法人NPO砂浜美術館 (高知県幡多郡黒潮町)

町の“ありのままの風景”そのものを美術館と考え、そこにある豊かな自然と、そこに暮らす人びとの営みを、訪れた人びとが自分自身で、見方をかえたり、想像力を働かせたりしながら、一つひとつ大切な「作品」として楽しむ「砂浜美術館」を運営しています。ここでは砂浜美術館を学ぶことを通じて、町全体を美術館と捉える発想法や視点、特に、自然や地場産業、地域の人々の暮らしを「地域の価値」として発見する考え方等のポイントを学びます。

【ホームページ: <http://www.sunabi.com/>】

3

【グループワーク】課題の共有と解決糸口の発見

事前課題を、さまざまな地域から集う参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、多面的な視点から、その解決策をグループワーク形式(1グループ5名程度)で討議します。参加者間で議論を深め、課題解決の糸口を探します。

4

【成果発表】課題解決策と実行計画案の発表

各地域の課題について、グループワークで議論した解決策および地域での実行計画案を全体発表します。

■現地講師の紹介

■現地講師 特定非営利活動法人土佐山アカデミー事務局長 吉富慎作 氏



内閣府地域活性化伝道師。山口県下関市出身。外資系広告代理店勤務時代に坂本龍馬のポータルサイト「龍馬街道」を立ち上げ高知と深く関わる。2013年2月、土佐山アカデミーの想いに共感し移住。中山間地域をもっと面白くをモットーに活動中！

■現地講師 特定非営利活動法人NPO砂浜美術館理事長 村上健太郎 氏



神奈川県出身。大学卒業後、会社つとめを経て、2002年、砂浜美術館の考え方や取り組みに惹かれ、縁もゆかりもない町に移住。2011年から現職。ちょっとあやしい幡多弁(地元の方言)をあやつりながら、日々地域の魅力を発信している。

■プログラム(予定)

■12月14日(木)【フィールドワーク・事前課題発表】

12月14日(水) 12:30 JR高知駅改札口(外) 集合

※昼食は済ませてからお集まりください。

12:30-13:00 【受付】(JR高知駅)

13:00 JR高知駅 出発(バスで移動) ※車中にてオリエンテーション

14:00-16:00 【フィールドワーク】

・「土佐山アカデミー(高知市土佐山)」を現地視察

16:00-18:30 【事前課題等の発表・講評等】

・事前課題等の発表



19:30 【夕食・交流会】

※宿泊は「高知共済会館」(相部屋)

■12月15日(金)【グループワーク・フィールドワーク】

9:00-11:30 【グループワーク】

・事前課題を踏まえたグループワーク

11:30-13:00 【フィールドワーク】

・「ひろめ市場(高知市帯屋町)」を散策

13:00 ひろめ市場 出発(バスで移動) ※車中学習

14:30-16:00 【フィールドワーク】

・「砂浜美術館(黒潮町)」を現地視察

16:30-18:30 【グループワーク】

・フィールドワークを踏まえた事業計画案の作成

19:30 【交流会】

※宿泊は「ネスト・ウエストガーデン土佐」(相部屋)



■12月16日(土)【グループワーク・成果発表】

9:00-11:20 【グループワーク】

・グループワークによる事業計画案の作成

11:20-12:20 【成果発表】

・事業計画案のプレゼンテーション

13:00-14:00 【総括講義】

14:10 現地出発(バスで移動)

16:10 JR高知駅 解散



■受講生の声

- 期待以上に密の濃い研修で充実しました。
- 人前でプレゼンすることは、あまりない為、実際に行えること、また、講評をいただけたことは有難い。
- 一つの事業を起こしていく奥深さ、大変さを少し経験できた。もっと沢山知識を深めていく必要があると感じた。
- 役割分担と時間配分を決めてやることの大切さを味わった。理論を通すためのデータにも力を入れたい。
- 事業計画を立てる事の難しさ、チームをうまく機能させる難しさを感じました。事業計画をしっかりと考えることが大切で何度も考えることが大事だと感じました。
- テーマなど、それぞれの着眼点の違いや、経験の違いによる思考の差を見れた。地域の中での話し合いに活用できそう。